

短 信

□健康長寿めざす高齢者の集い

昨年10月30日大久保南小校区連合自治協議会はあかし保健所1階多目的ホールで、健康長寿をめざす敬老会第2弾「高齢者の集い」を開いた。約80人が参加した。内容は人気の認知症テスト、血管年齢や骨密度の測定、「介護予防」の寸劇、「認知症予防」のミニ講話などいろいろ。また、お茶菓子付の「談話コーナー」や輪投げも楽しめた。



協力団体は、まちの保健室、大久保支援センター、あかし健康ソムリエ会、ボランティアふるさと南とリンクの皆さん。

★カラオケ大会開く

2月2日、大久保南高年クラブ連合会は福田会館でカラオケ大会を開いた。

出演者他約30名が集い、昭和の懐かしい演歌、歌謡曲を歌ったり、踊りや手拍子、一緒に口ずさんだり皆で楽しんだ。岡垣内会長はあいさつ



で、今回は初めての試みだった多くの参加があったので「2回目もあります」と次回開催の意欲を見せた。

つながりサロン in 大久保南
外に出て、話もできてよかったです

大久保南小校区
コミセンでは「つながりサロン」が開かれています。参加された方からは「他所から転居し一人住まい。誘われて参加したが、いろんな情報を得られ、おしゃべりもできてよかったです」と話していました。



サロンは自由参加で申込不要。テーマを決めず、地域や暮らしなどの色々な話題を話しができます。次回は3月29日第6回目を予定。場所など詳しくはコミセンまでお問合せください Tel 937-7338

★スタッフ募集！

大久保南小校区連合自治協議会では地域のために何か役に立ちたい、こんなことやりたいという方探しています。あなたの特技、経験、アイデアを活かせる活動一緒にやりませんか。コミセンまで気軽に電話ください。



4月1日～9日は
大久保駅市民ギャラリーへ
連合自治協議会、各地域団体の年間活動報告の写真などを展示します。

主な行事・会議予定(後日文書確認下さい)

- ◎4月 5日 新旧自治会地域団体代表者会議
- ◎4月 26日 新旧自治会地域団体代表者会議
- ◎5月 10日 連合自治協議会定期総会
- ◎5月 17日 校区新自治会長研修



命を救う献血

ご協力ありがとうございました

昨年11月24日、校区連合の健康福祉委員会は、イオン明石の2番街で献血運動を日本赤十字社に協力し実施した。会の委員が通行者へ呼びかけて47名の方に献血頂いた。

編集後記

地域の話題を楽しんで読んでいただけるよう、記事作りに取り組んでいます。皆様方からの情報ご意見、ご要望等頂けましたら幸いです。「まちナビAKASHI」でも情報配信していますので、アクセスお願いします。(広報委員長:天野 誠)

なんなん

新年交歓会 校区連合自治協議会主催

多くの来賓出席のもと、なごやかに交歓

1月12日(日)、あかし保健所1階多目的ホールで大久保小学校校区の2020年新年交歓会が開催された。

泉房穂市長、西村経済再生担当大臣、県議会・市議会議員など多くの来賓出席のもと、校区連合自治協議会に加入する自治会、各地域団体の役員会員ら総勢134名が参加し、新年のあいさつ交歓をした。

冒頭、戸田会長から「市役所は来なくなった。残ったJT跡地は大久保地域のために如何に活用するかが今後の重要な課題。私は、問題となっている「桜を見る会」でなく、手弁当で誰でも“花見”ができるような公園、子供から年寄まで集い憩える施設、福祉やコミュニティ推進を担うセンターなどの建設を期待したい。来賓の市長・市議におかれでは、ぜひご協力ををお願いします。」とあいさつ。

これを受けた形で泉市長から「市民へのアンケート結果では明石市には図書館が2つしかないので、大久保に3つ目を作るという案も候補の一つ。有効活用を検討していきたい。」とコメント。

西村大臣からは「株価が上がっている。株価は半年後の経済を見る指標になるので、半年後には経済がよくなっているだろう」「自動運転などの新しい技術がいろいろ出てきているが、やはり人間関係が大切である。若い人にとつて“自分たちの希望が叶うような世の中”にしていきたい」というあいさつがあった。

また、大久保南小校区に在住の竹内市会議員からは「新人議員として地域のために頑張ります」とのあいさつがあった。

乾杯の音頭では寺田大久保南小学校長が、子どもたちが地域を愛し地域のために役立ちたいと思う大人に成長するよう、地域の皆さんと考えて行きたいなどとあいさつした。

各テーブルでは、新年あいさつと地域の話題など和やかな歓談のうちに開きとなった。



発行: 2020年2月 第15号
編集: 大久保南小学校校区連合自治協議会
広報委員会
連絡先: 大久保南小学校校区コミセン内
電話: 078-937-7338
E-mail: ookubom-cc@city.akashi.lg.jp

市役所新庁舎の基本計画素案説明会

計画説明に多くの疑問と不安

現在地は災害にもっとも危険では？

去る1月19日あかし保健所で、現在地建替えが決まった市役所新庁舎の基本計画素案の大久保地区説明会が開かれた。市から宮脇副市長らが出席し、基本計画素案を説明、のち市民と意見交換した。

出席した市民からは、現在地建替えの決定は納得できない、現在地は災害にもっとも危険な場所。決めた経過や理由の説明が十分市民に知らされていない。候補地の検討では市民の意見を聞く機会もなかった。などと計画に疑問や不安、決定手続に不満を訴える発言があった。

これに対し市は、計画は特別委員会で検討され、市議会で市民の代表である議員が全員賛成決議されたこと。市としてはそれを受けた計画を進めていく立場であると回答。

また、現在地建替えでは敷地の半分を処分しても特別な災害対策が必要となり、事業費が青天井となるのではないかとの疑問に対し、今後よく検討し事業費の抑制に努力する、敷地の処分にはこだわらないなどと回答した。

その他、・津波で浸水すれば市役所は陸の孤島となる-対策は？・市民が利用しやすい市役所にすること。・建物の採光に太陽光を取り入れる工夫を一などの質問・意見などが出た。

さらに、大久保 JT 跡地が市庁舎の候補地でなくなったから、処分予定していた市民センター敷地や駅北東の中部地区保健センター用地（現在は駐車場）は、民間売却しないで地元のために残してほしいとの意見も出た。これについて、市は新庁舎の場合と同様、処分にはこだわらないと回答した。

後日、中部地区保健センター用地は次年度も駐車場として継続するとの報告があった。

■ 南小の北側歩道も計画幅員に広げる

明石市は南小学校北側道路の歩道については詳細検討の結果、2m50の歩道に拡幅整備すると発表した。JT跡地開発計画の住民説明会では現状のままと回答していたが、計画幅より狭いとの住民の指摘に応える結果となった。JT跡地開発工事に合わせて次年度末（2021年3月末）までに完了させる予定。

=人権講演会=否定的な言い回しはしない



大久保地区人権教育研究協議会（田淵洋三会長）主催の人権講演会が12月7日に開かれた。講師はスクールカウンセラーの中村経子さん（臨床心理士、笑いヨガティーチャー）。講演の内容は、不登校の子供たちへの接し方から学んだコミュニケーション法についてでした。一否定的な言い回しはしない（廊下を走らない！⇒歩く！）、やめて欲しい行動を指摘するのではなく、良い行動を褒めることで相手に不快な思いをさせずとも相手を動かすことができるなどと分かり易く話された。

地域活動いろいろ

◆ 新年会で交流（もちつき、焼き芋、ぜんざい、飲みものあり）



オースガーデンイースト自治会は1月26日、新年会を開いた。餅つきをはじめ、ぜんざい、おでん、焼き芋などもあり、もちをついたり丸めたり、親子子供が楽しんだ。また、久しぶりに集まった大人は飲み食ながら話に花が咲いた。今回初めて取り入れた焼き芋も大好評だった。

恒例となった新年の行事ですが、初めて参加した高齢者の方とも話ができるなど住民の交流に役立っている。

◆ キッズクラブでバス遠足

イーストスクエア自治会で11月3日、キッズクラブの子供たちが、恒例の秋のバス遠足行きました。今年は約30名で大阪市立科学館を行った。プラネタリウム、サイエンスショーなど、宇宙やエネルギーについて学びながら、頭と体をいっぱい使って1日を楽しんだ。子ども同士が学年を超えて触れ合えるよい機会となった。



◆ クリスマス会で輪投げ大会

下二又自治会は12月22日、集会所でクリスマス会を開催。40世帯の小さい自治会ですが会員の半数が参加し、輪投げなどで楽しいひと時を過ごした。同自治会は高齢化が進み休止状態に悩んでいた。

昨年7月より自主活動（体操）グループが発足し、自身の健康に関心のある高齢者が「健康体操」を継続し元気になり、地域に好影響を与えている。それにより自治会に活気が戻ってきている。



◆ じゃんけんゲーム、帽子リレーゲームで会員交流



スポーツクラブ21大久保南は12月8日（日）、大久保南小学校体育館で「年末お楽しみ会」を開いた。会員225名が参加、小さい子供から80歳代の方まで皆で楽しいひと時を過ごすことが出来た。普段はなかなか交流できないが、「じゃんけんゲーム」「帽子リレーゲーム」「クイズを出して○×ゲーム」をみんなで楽しみ、会場には1日中笑顔があふれていた。